

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 3 部門第 3 区分  
 【発行日】平成20年6月19日 (2008.6.19)

【公表番号】特表2003-535178(P2003-535178A)

【公表日】平成15年11月25日 (2003.11.25)

【出願番号】特願2002-500609(P2002-500609)

【国際特許分類】

C 0 8 L 23/16 (2006.01)

B 2 9 C 49/04 (2006.01)

C 0 8 J 5/00 (2006.01)

B 6 5 D 1/00 (2006.01)

B 2 9 K 23/00 (2006.01)

B 2 9 L 22/00 (2006.01)

【 F I 】

C 0 8 L 23/16

B 2 9 C 49/04

C 0 8 J 5/00 C E S

B 6 5 D 1/00 A

B 2 9 K 23:00

B 2 9 L 22:00

【手続補正書】

【提出日】平成20年4月30日 (2008.4.30)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 A) 室温 (約 23 ) で 93% 以上のキシレン不溶留分量を有し、1 ~ 6% のエチレンを含むエチレンとプロピレンのランダムコポリマー 70 ~ 90% (重量パーセント) と、

B) 8 ~ 18% のエチレンを含むエチレンとプロピレンのコポリマー 10 ~ 30% (重量パーセント) とから構成され、

(B) の合計重量に関する (B) 中のエチレンの重量パーセント (式  $C^2_B$  で表される) に対する、(A) 及び (B) の合計重量に関する (B) の重量パーセントの割合 (B) /  $C^2_B$  が、2.5 以下であるプロピレンポリマー組成物。

【請求項 2】 成分 A) と B) が別々の連続した工程で製造され、最初の工程を除いて、前の工程で形成されたポリマーと前の工程で使用された触媒との存在下で個々の工程の操作が行なわれる少なくとも 2 つの連続工程からなる請求項 1 のプロピレンポリマー組成物を製造するための重合方法。

【請求項 3】 請求項 1 のプロピレンポリマー組成物を含むボトル及び容器。

【請求項 4】 請求項 1 に定義されたプロピレンポリマー組成物から得られ、当該組成物の MFR L が 0.5 ~ 2.5 g / 10 分であるボトル及び容器。

【請求項 5】 押出吹込成形により得られる請求項 4 のボトル及び容器。